

項目32:働く(福祉的就労・施設・作業所など) ヒントNO①:施設での状況

NO	年齢	男女	手帳	分類	項目	ヒントNO	○ ●	コメント ヒントNO①:施設での状況 (職員の対応、利用者の人間関係、環境、食事、仕事・作業内容)
1	12	M	B2	22	32	1	○	勉強会に出る施設職員さんが勉強してきてくれるところをよく見るようになった。
2	19	M	B2	51	32	1	○	施設に通所して半年になるが、作業もできていることで、本人の自信になっている。職員の指導、支援が本人に合っていると感じ、感謝している。
3	19	F	A1	51	32	1	○	職員の対応が良く、本人もリラックスして作業している。親も安心で助かっている。
4	19	男	B2	51	32	1	○	作業手順表やジグがキチンと分かりやすく構造化させていた。
5	19	男	B2	51	32	1	○	利用者間でトラブルが発生したので、食事、更衣室、作業場に専用の一人の空間を用意してくれた。
6	19	男	A2	51	32	1	○	仕事内容や手順を考慮して作業にのれるように構造化し、更に再構造化してくれる。
7	20	男	A1	51	32	1	○	日中のすごし方について、本人の特性を考えてメリハリをつける等、工夫しようと話し合ってくれている。
8	20	M	B1	51	32	1	○	知識、経験のある職員がいたときは、その職員は本人に寄り添った支援をしてくれていた
9	21	M	A1	51	32	1	○	職員が意欲的でよく勉強してくれ、本人が毎日楽しく活動できる場となっている
10	21	男	A2	52	32	1	○	疲れているのに上手に「休憩」できない本人に対して、たくさん工夫をしてくれて、上手に休憩できるようになった。
11	22	M	B1	51	32	1	○	個性を生かし、自由な雰囲気を作ってくれている。作業もしっかり行っているが、強制されたりすることもなく、居心地がよい
12	24	M	A2	0	32	1	○	施設職員さんの対応は子どもが毎日嫌がることなく通所できていることでとても助かっています。作業内容も和らぎやすく指示され、理解しやすいのかと思う。それは今の施設の方が専門知識を持って支援していただいているからと思う
13	24	M	A2	51	32	1	○	時間はかかったが、職員も配慮してくれ、最近は落ち着いている。
14	24	男	A1	51	32	1	○	施設の支援員さんは、皆さん優しいので、話し易い。親の話を受け入れて取り組んでくれる。
15	24	男	A1	51	32	1	○	いい意味で支援員さんは親との連携を積極的に取ろうとしてくれます。(それが甘えになって支援を親任せにして自分で作ろうとしないこともあります)
16	27	M	B1	52	32	1	○	施設職員の対応が適切で、作業内容も本人に合っている。【その他在住】
17	28	M	A1	51	32	1	○	希望していた通所施設に通えるようになった。職員さんのきめ細かい支援のおかげでパニックも消え、本人も自信を持って生活できるようになった。できることが増え、他人を信用して我慢もできるようになった。
18	30	M	B1	51	32	1	○	連絡帳により概要を把握できる。家庭での困りごと相談できる。
19	31	M	A1	51	32	1	○	とてもよくしていただけてます
20	31	M	A2	51	32	1	○	本人にあった支援をしていただき、とても落ち着いています
21	32	M	A1	51	32	1	○	一日を自律的に混乱なく過ごす施設に通所できていること【GH在住】
22	33	F	B1	51	32	1	○	作業所での仕事にたいして写真や絵の入った指示書が作成され、作業が安心してできるように支援されている。作業所での役割を与えられることにより、家に帰った後も自分が行うことを決め実行している。
23	34	M	A2	51	32	1	○	自閉症の専門性を身に付けた職員がたくさんいるので安心していられる。職員が親の気持ちもケアしてくれる
24	34	M	A1	51	32	1	○	本人にあった支援をしてもらっている
25	34	M	A2	51	32	1	○	自閉症に特化した施設なので、通所を始めたばかりですが、とても好調に過ごしています。
26	35	M	A1	51	32	1	○	職員がきちんと記録を付けてくれるので、本人の得意、不得意が判り、やる気を起こさせる事がうまくいっている。
27	35	M	A2	51	32	1	○	本人の意見を聞いて、一日の作業等も決めてくれるので助かります。
28	35	M	A1	51	32	1	○	作業をする中で、本人には無理かなと親が思っていることを職員がいろいろ工夫をしてクリアしてくれてる
29	35	M	A1	51	32	1	○	こどもの特質を見極めてできる作業をよく考えて支援してくれている

30	37	M	A2	51	32	1	○	施設で行われている作業訓練で、職員の指導も適切に行われ、本人の作業への意欲向上や満足感、達成感といった精神面の安定にも寄与している。
31	37	M	A1	51	32	1	○	本人本位の作業を細かく見てくれて小さな変化にも手直しをしてくれる。とてもありがたく安定して楽しんで作業ができる
32	38	男	A1	51	32	1	○	現在は、諸君全員が熱心に対応してくださっており、毎日安心してお願いできております。
33	38	男	B1	51	32	1	○	個別支援計画をいち早く立て、仕事に集中しやすい環境(一人部屋)にしてくれた。
34	38	男	B1	51	32	1	○	休憩時間は何もしなくても良い自由な時間ということで、何も用意されていなかったため、何をしていたらよいか分からず、混乱した。
35	38	男	B1	51	32	1	○	自立的に仕事ができるよう、手順表、スケジュール表などの活用を。
36	38	F	A2	51	32	1	○	一日の流れをカードで説明したり、無理のないようにスケジュールを組んでくれている
37	38	M	A2	51	32	1	○	作業所の職員さんが、本人の思いをくみ取る支援を心がけてくれている【GH在住】
38	18	M	B1	51	32	1	○	作業所は静かなので、落ち着いて作業できている。
39	18	M	A2	51	32	1	○	自閉症に理解のある職員さんに対応していただいている
40	18	M	A1	51	32	1	○	対応がいい
41	19	F	A2	51	32	1	○	職員の方が親代わり・兄弟替わりになって関わってくれている・作業内容も、本人のペースに合わせて進め、最終的に“出来る”ように指導してもらっている。
42	20	M	A2	51	32	1	○	作業内容が細分化されており、能力に応じて出来る箇所をすることができる
43	20	M	A2	52	32	1	○	本人に分かりやすく作業を指導してくれる
44	21	M	A1	51	32	1	○	日中活動が固定されているのでわかりやすい。変化が苦手な本人には助かる
45	23	F	A1	51	32	1	○	本人が好む事を理解し接してくれるので、毎日元気に通っている
46	19	M	A1	51	32	1	○	偏食が多いがメニューを変えて栄養価の高い食事を提供してくれる
47	19	M	A1	51	32	1	○	作業内容も本人にあわせて変化をもたせ意欲的に行える工夫をしてくれる
48	19	M	A1	51	32	1	○	個々に合った環境で作業ができ、提示も解りやすく自立して作業ができている

項目32: 働く(福祉的就労・施設・作業所など) ヒントNO②、③、④、⑤、⑧

NO	年齢	男女	手帳	分類	項目	ヒントNO	○●	コメント
								ヒントNO②: 進路相談、選択、③: 就労移行、④: 就労先(人間関係、職場寛容)、⑤: 通勤、⑧: その他
1	14	M	A2	23	32	2	○	学校での対応が良いので安心です。
2	18	M	A2	51	32	2	○	自宅から近い場所に自閉症の特性を考慮した施設があり、作業内容が本人に適していたこと。作業手順とスケジュール、PECSカードを利用したコミュニケーション法などあり、自立して過ごすことができる
3	19	男	B2	51	32	2	○	養護の進路指導の先生が、施設変更を考えている時、施設の様子を見に来てくれて、必要なデータなどを調べてくれ、一緒に考えてくれた。
4	20	M	B1	51	32	2	○	養護で何回か訓練や適性検査をして本人の状態を見て就労先を決めた。
5	28	M	A1	51	32	2	○	中学途中でしらとり園にお世話になった時、施設や養護学校との相談を進めてくれたり、中学との話し合いの場を設定したりしてくれた。
6	22	M	A2	51	32	2	○	ケースワーカーや心理士・職場のスタッフ等で実習のあとケース会議を開いてくれた。本人の心に抱えている状況がよく理解できた
1	28	M	B3	51	32	3	○	作業所での様々な作業手順が写真や図、イラスト等で解かりやすく提示されているので、イライラが減少。
2	28	M	B3	51	32	3	○	3ヶ月ごとに個別支援計画の見直しがあり、先の見通しが出て、前向きに過ごせる。
3	28	M	B3	51	32	3	○	企業からの作業がたくさんあり、暇を持って余すことがない。日毎の工賃に差がない。
4	28	M	B3	51	32	3	○	契約がしっかりしていて、有給制度、給食、制服、災害時、余暇活動への配慮等もあり、会社に就労したような形態で、就労が決まったときに順応しやすい。
1	20	女	A1	51	32	4	○	作業環境の整備や、ワークシステムの利用で、作業に自立的に取り組めるようになった。

2	20	M	B1	51	32	4	○	作業の手順書や写真あり。わかりやすい。職員と一緒になので本人も安定。
3	23	F	A2	51	32	4	○	給料で買物をすることを楽しみにしている。こずかい帳もつけるようになった。
4	23	M	精2	61	32	4	○	施設のクリスマス会で、メニューが決まりかけている直前に自分の鶴の一声で決め直す羽目になったときは大変すまなかったと思う(就労移行支援で学んだこと)(*人間関係、対人関係で学ぶべきことが多かった)
5	21	M	A2	51	32	4	○	仕事の分担や一日の流れ等、ホワイトボードに書かれていて、視覚的にわかりやすく、配慮されている
6	18	F	A1	51	32	4	○	スケジュール表では、その日担当の職場の顔写真で、1日の流れがわかり、安心して通っている。
7	18	F	A1	51	32	4	○	本人の希望(やりたいこと)を取り入れてくれるのがありがたく、安定につながるよう。
8	23	M	A1	51	32	4	○	ラジオたいそう、広告仕分け、ボール運動、モップがけなど要望に応じて日中スケジュールを作った。好きなカレーライスを出すように工夫し、写真カード作成に協力してくれるようになった。
1	24	M	A2	0	32	5	○	現在移動支援サービスを利用しているため安心して親は仕事につける
2	34	M	B1	51	32	5	○	人間関係、環境がよく助かります
1	19	男	A2	51	32	8	○	警察での事情聴取の時に、施設長が付き添ってくれた。親子で不安な状態だったので、心強かった。
2	21	M	B2	62	32	8	○	就労移行支援において、就労訓練や就職活動を就労援助センターと事業所が連携して進めてくれたので、親は安心していられた

項目32:働く(福祉的就労・施設・作業所など) ●:困った事 ヒントNO①:施設での状況

NO	年齢	男女	手帳	分類	項目	ヒントNO	○●	コメント ヒントNO①:施設での状況 (職員の対応、利用者人間関係、環境、食事、仕事・作業内容)
1	13	M	B2	22	32	1	●	(見学をした授産施設で)仕事が集中してできない人に対して、職員が後でお説教をする(どうして仕事をちゃんとやらないのか、などと話す)そうで、それよりも本人が集中して仕事ができる環境づくりや手順書など、分かりやすい工夫を職員が考えてやって欲しいと思った。
2	17	M	A1	35	32	1	●	作業所実習で利用者から「ウルサイ」と注意されるので、そこで働かせるたいと思っても、あきらめざるをえない。
3	17	M	A2	35	32	1	●	施設は作業内容が充実していないし、作業所は心配で預けられない。
4	19	男	B2	51	32	1	●	心理面のフォローが無く、施設を変えた。
5	19	男	B2	51	32	1	●	大きなホワイトボードに全員のしけジュールが示されているが、違う場所に移動すると、見えず、分からなくなる。
6	19	男	B2	51	32	1	●	注意を大きな声や、きつい言い方でされ、他害に走った。
7	19	男	A2	51	32	1	●	支援員により、障害理解に格差があり、支援にばらつきがある。
8	19	男	A2	51	32	1	●	曜日によって行動観察や評価、見立てにばらつきがある。
9	19	M	A2	51	32	1	●	高等部三年の現場実習先で「これが出来ない」と出来ない事が評価になってしまい「こういう支援をしたが出来なかった」という支援付の評価ではなかがっかりした
10	19	F	A1	51	32	1	●	通所してから、ツバ吐き、お皿をなめる、掲示物を破る、服を脱ぐなどの問題行動やこだわりが出てきたので、職員に相談すると、利用者さんにそういう方がいるので…と言われてビックリした。
11	19	F	A1	51	32	1	●	生活介護の通所は、軽作業、ワゴン車で外出、散歩など、仕事と余暇が入り混じっているため、働く場所か、遊ぶ場所か、なんともわかりにくい。
12	19	F	A1	51	32	1	●	急な配置転換があり、本人も親も戸惑いました。もっと前もって知らせしてほしい。
13	20	女	A1	51	32	1	●	職員の障害特性への理解がまちまちなので、職員間での共通理解ができていないように見受けられることがある。
14	20	男	A1	51	32	1	●	自閉症の理解があまりない。午前中は退屈で眠っていたり作業をせずにフラフラしていることが多い。
15	20	男	A1	51	32	1	●	環境の変化に弱いので担当支援員が変わると慣れるまで半年以上かかってしまう。作業種が少なく、やりたいことやできないことがない。
16	20	M	B1	51	32	1	●	障がいに対して経験、知識のない職員が、十分な研修もうけずに現場に入っていて、適当な指示を出せずに混乱している
17	21	M	A1	51	32	1	●	仕事内容が単調で種類が少なく、飽きてしまう。また収入となる仕事がありません
18	22	男	A1	51	32	1	●	職員の不適切な対応により、人に対して暴力的な行動をとる。

19	22	M	A1	51	32	1	●	職員がコロコロ変わる
20	23	F	A2	51	32	1	●	どこの場所に行っても、必ず特定のお気に入りの人をつくり、大きな声やしつこい話で、その子に気に入られてしまう。
21	23	M	B1	51	32	1	●	生活介護であるせいか、日々を穏やかに過ごすことで満足なのか、年長者も若者も作業内容が同じ。もう少し個別の支援内容を工夫して欲しい。(支援計画作成では毎回伝えているのだが、なかなか意図するところが伝わらない。)
22	24	男	A1	51	32	1	●	法人の研修で自閉症の支援は学んでいるはずなのに、現場にはほとんど生かされていない。おそらく福祉現場の古い感覚(全面受容)が抜けないから、なかなか自閉症の分かりやすい環境ができていかない。
23	27	M	B1	52	32	1	●	利用者間の人間関係が難しく、入所寮ではストレスも多いようだ。【その他在住】
24	33	M	A1	52	32	1	●	本人は困った事、嫌な事を言葉で伝えられないので、理由が分からず通所を拒否した時期が長かった事があった。職員の異動、対応、利用者間の人間関係か?【GH在住】
25	36	M	A1	51	32	1	●	施設での利用者同士の相性を充分把握しておらず、結果としてストレスが溜まる。
26	36	M	A2	51	32	1	●	最初に行った授産施設では本人に言葉だけでは理解できないことを他の手段で伝える努力をしてもらえなかった【GH在住】
27	36	M	A2	51	32	1	●	昼食時に職員がそばについて嫌いなものも食べさせようとしたため、嫌いなものは呑み込むようになってしまった【GH在住】
28	37	男	A2	51	32	1	●	言葉で嫌という表現ができないため、サボタージュしていなくなった。その後、その仕事が嫌だったことを職場も理解して、仕事を変えてもらい、穏やかに現在に至る。
29	37	男	A2	51	32	1	●	施設の閉鎖性が気になる。
30	38	M	B1	51	32	1	●	作業所の職員の対応が悪かった

項目32: 働く(福祉的就労・施設・作業所など) ●: 困った事 ヒントNO②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧

NO	年齢	男女	手帳	分類	項目	ヒントNO	○●	コメント
								ヒントNO②: 進路相談、選択、③: 就労移行、④: 就労先、⑤: 通勤、⑥: 仕事の継続、⑦: 相談先、⑧: その他
1	18	M	A1	35	32	2	●	スケジュールや写真・絵カードなどで活動を分かりやすく提示してくれる場所はどこかにありますか?と先生に聞くと、首を傾げられてしまった
2	18	M	A2	51	32	2	●	地域に安価に相談できる相談窓口がない
3	18	M	B1	51	32	2	●	進路の選択しが少なく、取りあえず現場実習に行きましようという感じでした。
4	19	男	B2	51	32	2	●	養護学校高等部の訓練だけでは経験値が少ないので進路選択には迷う。
5	27	M	B1	52	32	2	●	高校卒業時、進路で悩んだが相談先がわからずあせった。【その他在住】
6	34	M	B1	51	32	2	●	就労訓練に手行き詰まり、ストレスがたまり、体調を崩した
1	17	M	B2	35	32	3	●	就労訓練先で、上司の音が大きくなり声で同じことを繰り返すので、逆に反抗的になってしまった。こどもの特性を理解して指導してほしい。【GH在住】
2	27	M	B2	61	32	3	●	転職を考えているが、在職したままでは難しいと相談先から言われ悩んでいる。【GH在住】
3	28	M	B3	51	32	3	●	以前は精神障害の作業所であり、発達障がいを理解してもらえず、親も子も気を遣った。(職員の方が顔をしかめる場面が多かった。学ぶチャンスがなかったとも。)実際、作業所には精神の方だけでなく、知的障がい、発達障がいの方も多くいて、作業所がスムーズに運営できるためには毎日コンスタントに通所する発達障がい者の存在が大いに役立っている。是非、職員の方が発達障がいについて学ぶチャンスを与えて欲しい。
4	18	F	A1	51	32	3	●	学校の実習期間と施設での実習期間が大きすぎて、本人の調子を大きく乱した。
1	19	M	A2	51	32	4	●	通常業務が出来なくなったときの他のスケジュールがなかったため、一日仕事がない状態があった
2	23	M	A1	51	32	4	●	環境になれず(集団行動や活動が自閉症に分かりにくい行事が多い)こだわりが強くなり食欲低下、体重減、外出できなくなった。体調を崩し病気がちになった

3	26	M	B1	51	32	4	●	支援者が大きな声で他の通所者を注意する場面が多くあり、家でも「～弁当持って帰りなさい」等不安を繰り返すようになった。
4	38	男	B1	51	32	4	●	皆一緒に同じ部屋での仕事だったため、混乱すると、人に当たる人がいて、しょっちゅうひっかき傷をつけられてきた。
5	38	M	A2	51	32	4	●	現在は立て直してよくなったが、狭くて古い民家で環境が悪かった【GH在住】
6	38	M	精2	51	32	4	●	人間関係
7	21	M	A1	51	32	4	●	時々、施設側の都合で日中活動が変更の時がある。事前に連絡が無い
1	22	M	A1	51	32	5	●	親も老いてきて一日2往復2時間の送迎がきつい
2	24	F	B2	70	32	5	●	公共交通機関が駅はダンジョンのようで怖くていられない。バスは他の人との接触を気にして乗れない。徒歩または自転車で行かれるところで自閉症支援のできる作業所が無い。
3	32	M	A1	51	32	5	●	親の送迎が必要なこと【GH在住】
1	18	M	A2	51	32	6	●	まだまだ理解啓発の段階
2	19	M	A2	51	32	6	●	通常業務が出来なくなったときの他のスケジュールがなかったため、一日仕事がない状態があった
1	19	男	B2	51	32	7	●	相談事業所は、本人の評価をせず、母親の話だけで判断
2	21	M	A1	51	32	7	●	家庭で問題行動がおこった時に相談できる経験豊かなスタッフがいない
3	34	M	A2	51	32	7	●	親が病気で入院した時何も支援がなかったので施設の一時保護で預けるしかなかった【GH在住】
1	24	F	B2	70	32	8	●	内職の仕事をやっているが、根気が続かなくて家族がサポートしているので、誰か家に来てサポートしてくれる人がいれば期限までの納品ができる。

項目32:働く(福祉的就労・施設・作業所など) 20:望む事 ヒントNO①、

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	20	ヒ ン ト N O	コ メ ン ト ヒ ン ト N O ①:施設での状況(職員の対応、利用者間の人間関係、
1	15	M	B1	35	32	20	1	障害者本人を中心にして対策を考える(福祉施設で仕事をしていて感じたこと)
2	15	M	B1	35	32	20	1	必要のないところに行動の規制をかけない(福祉施設で仕事をしていて感じたこと)
3	15	M	B1	35	32	20	1	正しい知識をもつ(福祉施設で仕事をしていて感じたこと)
4	15	M	B1	35	32	20	1	勤は大切だが、しっかりした知識を持った上での勤であってほしい(福祉施設で仕事をしていて感じたこと)
5	19	男	A2	51	32	20	1	問題行動を起こしてしまったら、その原因を探る意識を職員が持つ。(障害を原因としない)
6	19	F	A1	51	32	20	1	皆一緒に！と言われても、個別の支援がなければ、そこにいることすらできない。まずは、一人ひとりの支援を考えて欲しい。
7	21	M	A1	51	32	20	1	若いスタッフががんばっているのはありがたいが、困った時にアドバイスしてくれる経験豊かで専門的知識を持った人がいないので、相談できない
8	21	M	A1	51	32	20	1	極力、見通しがつくよう、変更は前日までに知らせてほしい
9	22	男	A1	51	32	20	1	職員研修
10	23	F	A2	51	32	20	1	仕事として成り立っていなくても、仕事はしっかり、責任を持って行なうという意識付けは常にしてほしい。いずれ役に立つ仕事になるようにしてほしい。
11	23	M	A1	51	32	20	1	遠足など参加できないことが多いので、個別対応の余暇を組み立ててほしい。いつも通常日課になってしまう。
12	24	M	A2	51	32	20	1	職員の自閉症についての研修をより多く重ねて欲しい。
13	24	男	A1	51	32	20	1	自閉症の人の行動障害は、それまでの不遇な環境により身についたものが多いので、それを理由に施設利用を断ったりしないで嫌わないでほしい。適切に支援すれば改善できるのです。
14	24	男	A1	51	32	20	1	まず視覚支援をして、本人の意思を汲み取れるツールを見つけること。そうすればお互いのコミュニケーションが豊かになり、人として成長できます。
15	38	F	A2	51	32	20	1	作業所はみんな一緒というところがあり、その人その人のよいところがなかなかかわからないと思う。障害の特徴を分かるとやりやすくなるのでは
16	38	M	A2	51	32	20	1	日中の場はなくてはならない場。もう少し余裕と豊かさがあれば。【GH在住】

項目32:働く(福祉的就労・施設・作業所など) 20:望む事 ヒントNO②、③、④、⑤

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	20	ヒ ン ト N O	コ メ ン ト ヒ ン ト N O ②:進路相談、選択(仕事につけるか解らない時期) ③就労移行、④就労先(人間関係、職場環境)、⑤通勤
1	7	M	A2	23	32	20	2	卒業後の進路先不足の心配
2	12	M	B2	22	32	20	2	自閉症の特性にあったその子その子に合わせた仕事をできるようにしてほしい。
3	13	M	B2	22	32	20	2	地元で働く場が足りない。もっと働く場をつくるようにしてほしい。
4	13	M	A1	23	32	20	2	卒業後の行先に不安が強い
5	14	M	A2	23	32	20	2	もっと作業所が増えてほしい。
6	15	M	A1	23	32	20	2	本人の希望・能力を見極め就労できそうな人へは支えつつ、働きかけてほしい。
7	21	F	精3	42	32	20	2	学生に対してもチャンスを与えてほしい。短期間の実習の機会など
8	22	M	A1	51	32	20	2	本人の特性として必要であれば複数の日中活動の場を並行利用できるとよい
9	24	F	B2	70	32	20	2	家に支援者が来て在宅ワークができるよう支援するシステムがあればよい。
10	32	M	A1	51	32	20	2	通所に必要な支援が充実していること
11	35	M	A1	51	32	20	2	年齢的に成人病が増えてきているので何か対策を考えてほしい
1	19	男	B2	51	32	20	3	職業適性検査で分かることは、本人のほんの一部であって、自閉症の人の社会性の部分は検査できないため、判断にならない。
2	19	男	B2	51	32	20	3	自閉症の障害特性で、作業能力と社会性の落差を考慮に入れてほしい。
3	19	男	A2	51	32	20	3	個々の支援計画を短期・長期と立て、実現する。

4	21	M	B2	62	32	20	3	身体障害か知的障害位の区別で、本人の特性として性格をみている感じで、自閉症の特性は関心がない。
5	28	M	A1	51	32	20	3	本人の障害や個性を見極め、自信を持たせるような専門性のある支援をしてほしい。支援を必要とし、望む人たちに支援が届けられるとよい
6	35	M	A1	51	32	20	3	少しくらいの失敗は次のステップ。もう少し長期的に目標を持って地道に取り組んでほしい。
1	15	M	B1	35	32	20	4	パニックになったときに力尽くでおさえつけない(福祉施設で仕事をしていて感じたこと)
2	18	M	B1	51	32	20	4	職場でのスケジュールや手順書を活用してほしい。
3	22	男	A1	51	32	20	4	障害特性を理解して、作業環境、対応方法を考えてほしい。
1	19	F	A1	51	32	20	5	ドアツードアはやはり親は助かります。全施設そうなってほしい。
2	24	F	B2	70	32	20	5	地理的に交通の便が悪い所に作業所が多い気がする。

項目32:働く(福祉的就労・施設・作業所など) 30:求める合理的配慮 ヒントNO①、③、④、⑤

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	30	ヒ ン ト N O	コメント ヒントNO①:施設での状況(職員の対応、利用者間の人間関係、③就労移行、④就労先(人間関係、職場環境)、⑤通勤
1	15	M	B1	35	32	30	1	臨床心理士レベルの人の配置(福祉施設で仕事をしていて感じたこと)
2	19	男	A2	51	32	30	1	場当たり的な対応をせず、計画的に、施設全体で対応する。
3	19	M	A2	51	32	30	1	複数の作業プログラム
4	19	M	A2	51	32	30	1	障害特性を理解して、作業が出来るよう支援すべき。
5	22	M	A1	51	32	30	1	法的制度にとらわれず利用できる場所を選択できること
6	37	男	A2	51	32	30	1	利用者の適材適所、職員の適材適所
1	19	男	A2	51	32	30	3	最初の経験が大事なので、場面に合った適切な行動を丁寧に教える。
2	24	M	A2	51	32	30	3	自閉症の方々にあった空間の確保を国レベルで実施してほしい。
3	28	M	A1	51	32	30	3	自閉症に対する専門的な、将来を見据えた視点からの支援
1	13	M	B2	22	32	30	4	仕事を本人に分かりやすくするための手順書や物の配置、場所の工夫をして欲しい。
2	18	M	B1	51	32	30	4	予定、環境の変化に弱いので、事前に説明があると良い。
3	19	男	A2	51	32	30	4	障害特性に合わせて環境を整え、混乱や不安を軽減する。
4	19	F	A1	51	32	30	4	仕事の手順書、個別のスケジュールなど、わかりやすい個々の支援があつて初めて働くことができる。
5	19	F	A1	51	32	30	4	急な予定変更はやめてほしい。
6	38	男	B1	51	32	30	4	作業の課題分析をし、その人ができる能力に合わせて、ジグなど自助具を用意してもらいたい
7	38	男	B1	51	32	30	4	働く環境をその人に合わせて整備(職員の支援技術も環境の一部)
1	12	M	B2	22	32	30	5	自分で通えない人も、通勤を保障して、親が年を取り送迎できなくなっても続けて通えるようにしてほしい。